

事業提案書 記載のポイント

年 月 日

せたがやソーシャルビジネス支援補助金 事業提案書

世田谷区長 あて

住 所
電話番号
名 称
代表者の役職及び氏名

1

せたがやソーシャルビジネス支援補助金の交付を受けたいので、せたがやソーシャルビジネス支援補助金交付要綱第6条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて提出します。

記

- ・事業提案計画書
- ・収支予算書
- ・誓約書
- ・登記簿謄本などの写し
- ・直近2期分の確定申告書類の写し
- ・納税証明書の写し

1

世田谷区内の事業所・事務所が該当です。
すべての書類について、記載内容を揃えてください。

事業提案書 記載のポイント

事業提案計画書

1. 事業者概要

フリガナ		代表者	フリガナ	
名 称			氏 名	
			役 職	
本社（本店）所在地	〒	TEL		- -
事業者URL				
世田谷区内事業所所在地	〒	TEL		- -
連絡担当者	フリガナ		部署	
	氏 名		役職	
	E-mail		TEL	- -
設立年月日 ※西暦で記入	年 月 日	資本金		円
役員数	人（監査役を含む）	常時使用する従業員数		人
業 種 （中分類等）				
代表者の経歴 （学歴・職歴などご自由にご記入ください）				
事業内容	パンフレットやHPを印刷したものでも可（様式自由）			
	1			

- 1
 - これまでの事業の詳細や自社の強みについて記載
 - 提案する事業以外に、これまでソーシャルビジネスに関する事業や取組みを行っている場合は特に記載

事業提案書 記載のポイント

2. 提案事業計画書

※枠内に書ききれない場合は、枠を拡大して記載してください。

※図や写真、詳細な資料等を追加する場合、別紙に任意で作成し添付してください。企画書は、以下の項目①～⑦について、任意の書式（PowerPoint など）での提出も可能です。ただし、添付資料も含め、A4サイズとし、最終ページとします。

- ① プロジェクトを始めようと思ったきっかけや想いを含めて記載

事業のビジョン・理念

応募動機

② 世田谷区を含む地域

事業概要

① 地域課題及び社会課題への貢献に資する取組み・プロジェクトの名称

② 事業テーマ（複数選択可）

地域活性化・まちづくり / 保健・医療・福祉 / 教育・人材育成
環境保全 / 女性活躍推進 / 子育て支援 / 若者の支援
高齢者の支援 / 障害者の支援 / 観光 / 文化・芸術・芸能の保全・躍進
国際交流・国際協力 / その他（ ）

③ 事業内容

i) 事業実施地域（顧客・サービス利用者の範囲）

ii) 解決しようとする地域課題・社会課題

iii) 事業実施地域の現状

iv) 地域・社会課題解決と地域活性化に繋がる施策・事業の内容

v) 当該事業により実現する社会の姿、地域への貢献

事業実施体制

- ⑥ この事業により実現する社会の姿、アウトプットを具体的に記載
- ⑥ 地域での定着、将来的な成長が期待できるものであるか
- ⑥ 地域活性化等、地域社会に新たな価値を生み出すものなど好影響を与えられるものであるか

- ⑦ 事業に必要な技術、知識、経験、ネットワーク等があるか
- ⑦ 事業に必要な人員体制や設備体制は整っているか

- ③ 選択したテーマにおいて、事業実施地域ではどのような解決すべき課題があるのか
- ③ 地域にとって重要な課題を扱っているか

- ④ 事業実施地域で提供予定であるサービスの現状（ニーズとのギャップ等）について

- ⑤ 事業の実施予定内容。アウトプット。
- ⑤ 事業の目的として、課題解決にあたるために自社（自身）の強み（特徴）を示して、どのようなサービスが提供できるか
- ⑤ 他サービスとの差別化・優位性を含めて記載
- ⑤ 提供する商品・サービスの価値の市場分析

事業提案書 記載のポイント

事業実施計画	
①設備等の配置計画	
既存設備 有 ・ 無	設備投資 有 ・ 無
外注の有無 有 ・ 無	臨時雇用者 有 ・ 無 (人)
②本支援補助金以外の資金調達先（自己資金、補助金活用含む）・調達方法	
③当該年度の目標（数値目標・行動目標）	
1	
④当該年度のスケジュール（企画期間、事業開始時期、販路確保、広報計画等）	
年 月 ～ 年 月	
⑤5年後の達成目標（数値目標・行動目標）	
2	
⑥今後5年間の事業計画（事業展開、売上計画、販路、広報計画等）	

- 1
- どのようなアクションを起こすか、達成度合いが測れる内容で記載

- 2
- 年に1度効果測定のためのアンケートやヒアリングを行います。
- どのようなアクションを起こしたか、達成度合いが測れる内容で記載

事業提案書 記載のポイント

No.3

1

収 支 予 算 書

1 収入

経 費 区 分	予 算 額	摘 要
せたがやソーシャルビジネス支援補助金		
2		

提案する事業の収支予算の内容が分かれば書式は問いません。

総事業費に対し充てる資金を記入してください。

- ・ 補助金
- ・ 自己資金
- ・ 融資

2 支出

経 費 区 分	予 算 額	摘 要
3		

事業実施にあたり、かかる経費区分について、記載してください。

- ・ 開発費
- ・ 機器・備品購入費
- ・ リース・レンタル費
- ・ 賃借料
- ・ 工事費
- ・ 広報費
- ・ システム構築・システム登録利用費
- ・ 臨時人件費
- ・ 展示会等出展費
- ・ 委託費・外注費

補助対象経費の該当にならない経費は「その他」としてください。

事業提案書 記載のポイント

誓 約 書

当社は、下記事項について誓約します。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。せたがやソーシャルビジネス支援補助金に関する報告及び立入調査について、世田谷区から求められた場合には、それに応じるとともに、関係機関に照会することについて承諾します。

記

- 1 せたがやソーシャルビジネス支援補助金交付要綱第5条の事業提案をすることができる者に該当します。
- 2 法人等（法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）ではありません。法人等の役員等（法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）ではありません。
- 3 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていません。
- 4 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していません。
- 5 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有していません。
- 6 事業提案書及び添付書類の内容に偽りはありません。

年 月 日

世田谷区長 あて

住 所
電話番号
名 称
代表者の役職及び氏名

1

1

事業提案書と揃えてください。